

Ⅶ 子育てはハッピー

1 家庭の教育力を高め、子どもたちが健やかに育つための環境整備

現状と課題

子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むためには、その基盤となる家族・家庭の大切さを再認識し、子どものしつけや健康などの相談の場づくりや支援情報の提供など、親自身の成長も実感できる取り組みが必要です。

政策と実績等

- 3世代同居、近居への支援
- 子育て元気アップ活動助成事業
- 子育て支援 NPO と保育所との連携強化
- 子育てほっとステーションによる子育てに優しい環境の整備
- 子どもの生活習慣づくり運動の展開

● 子育て支援メッセ



● 認定こども園・放課後児童クラブの推進

● 認定こども園

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
園数	60施設	72施設	93施設	118施設

- ひょうご放課後プラン事業（児童クラブ型・子ども教室型）のニーズのあるすべての小学校区への開設

児童クラブ型

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
校区	715校区	719校区	716校区	920校区

子ども教室型

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
ニーズのある学校区数	199校区	204校区	212校区	222校区
実績数	196校区	208校区	216校区	222校区

● 子育て環境の充実



2 地域の子育て力を再構築



現状と課題

子育てに自信がない、相談相手が身近にいない等の悩みを持つ親への支援のため、地域団体・NPO・企業・学校等が連携した家庭支援を行うなど、地域が一体となった子育て支援が必要です。



政策と実績等

- 地域ぐるみの子育て支援の充実
- 地域団体とも連携した子育て応援ネットワークの推進
 - ・「まちの子育てひろば」の開設

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
開設数	2,097カ所	1,980カ所	2,144カ所	2,150カ所

● まちの子育てひろば

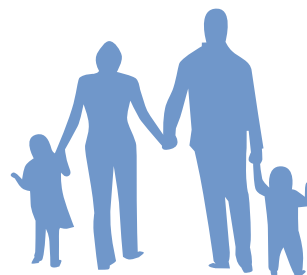


- 駅前での2世帯マンション建設など中心市街地過疎化対策の推進
- 3世代同居、近居への支援

● 3世代交流体験事業



● 子育てひろば交流会



3 相談窓口や相談員の充実など 児童虐待対策を強力に推進



現状と課題

こども家庭センターや市町等の相談員の増員や、地域団体の SOS キャッチ活動、児童委員による巡回相談の強化など、行政・地域が一体となって児童虐待対策に取り組む必要があります。



政策と実績等

- 児童養護施設や情緒障がい者短期入所施設などの充実・支援
- こども家庭センターの相談機能強化

・ 児童虐待防止24時間ホットライン ▶▶▶ **5カ所開設と運営**

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
相談件数	3,496件	2,875件	3,399件	—

- DV（配偶者暴力）防止及び被害者支援対策の強化

- ・ 一時保護委託施設の拡充による被害者の安全確保
- ・ 市町配偶者暴力対策基本計画の全市町での策定を支援

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
策定市町数	19市町	30市町	32市町	33市町

- ひょうご家庭応援県民運動の推進支援

- ・ 「家族の日」写真コンクールの募集

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
応募件数	495作品	482作品	311作品	330作品

- SOS キャッチ活動の推進

- ・ 子育て応援ネットの子育て家庭応援推進員拡充

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
推進員数	2,119人	2,121人	2,151人	—

- 要保護児童対策地域協議会の運営強化

- 西宮こども家庭センター新庁舎が完成



- 子どもを見守る地域の絆事業

